取扱説明書

エア・インパクト・レンチ　品番：＃３６５０１５００　型式：２４３ＶＳＲ

１，使用方法

①使用前後には必ず、**４１，エアインレットからタービン（スピンドル）油を給油して**、低速で始動させて下さい。**給油を怠たると、内部に錆が発生**し、故障の原因になります。
②本機は乾いた空気を使用する為、コンプレッサーに溜まっている水を、ドレインバルブより抜いて下さい。
③本機とコンプレッサーの間に、エアフィルター・レギュレター・エアルブリケーター（別売）を取り付けて下さい。
④３０，始動レバーを押すと、８，アンビルが回転し、離すと止まります。回転数、及び回転方向の切り換えは、２７，レギュレーターノブの“●”をノブ上部の２６，モーターハウジングに印字されている“●”に合わせて下さい。“●”の大きさが大きくなるほど、８，アンビルが速く回転します。時計回転方向に３段階、反時計回転方向に１段階の切り換えが可能です。
⑤ボルト、ナットを手で２山程度ねじ込み、その後、本機で締め付けて下さい。締め付け終了後、直ぐに３０，始動レバーを離して下さい。３０，始動レバーを押し続けても、ボルト、ナットはそれ以上強く締まりません。又、本機の寿命が短くなります。本機で締め付け後は、必ず増し締めを行って下さい。
⑥ボルト、ナットが完全に緩む前に、３０，始動レバーを離して下さい。最後まで緩めると、ボルト、ナットが飛ぶ恐れがあります。

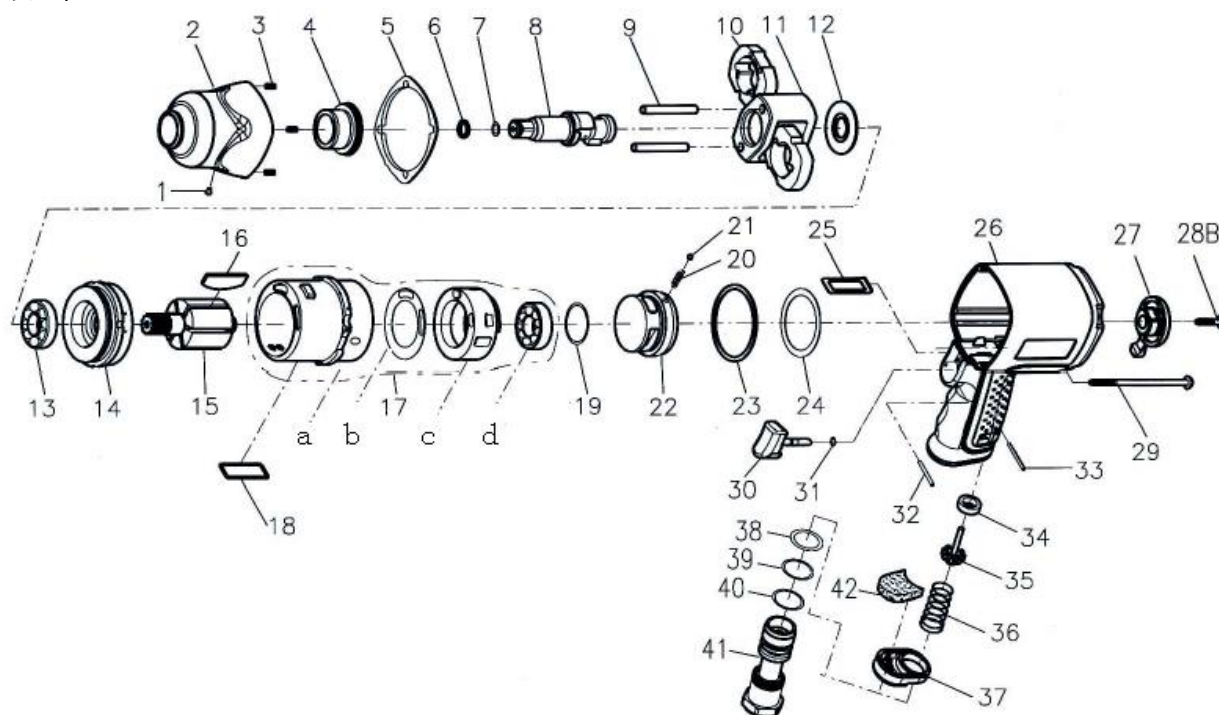
２，注意事項

⚠警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。）

①本機の最大使用空気圧は**５８８ｋＰａ（６ｋｇ／ｃｍ²）**です。それ以上の空気圧、及び能力以上のボルト、ナットに対して本機を使用しないで下さい。
②４１，エアインレットにゴムホース（約３０ｃｍ）を付けてから、クイックカプラを取り付けて下さい。直接カプラを取り付けると、振動によりカプラが外れて、ケガをする恐れがあります。
③本機への給油に、ガソリン、灯油等の可燃性オイルを絶対に使用しないで下さい。
④未使用時や、**ソケット交換時等は、必ず本機への空気の供給を止めて**、本機をコンプレッサーより外して下さい。
⑤本機にソケットを付けた状態で、無負荷での空運転をしないで下さい。ソケットが外れて、ケガをする恐れがあります。
⑥可燃性物質のある場所では、使用しないで下さい。発火して、火事になる恐れがあります。
⑦回転中、使用後直ぐに、差込角、ソケット、回転部には決して触れないで下さい。ケガ、火傷をする恐れがあります。
⑧３０，始動レバーを故意にロックさせて、回転させたまま放置しないで下さい。
⑨本機を人に向けて使用しないで下さい。
⑩改造は絶対にしないで下さい。改造を行っての作業は、事故の原因になります。

⚠注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）

①本機に破損箇所がある場合、ソケット、ゴムホースの破損、異常がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。
②作業に適した服装、安全眼鏡、マスク、耳栓等を着用して下さい。
③作業関係者以外は、作業する場所に近づけないで下さい。
④本機はボルト、ナットの締め付け、緩めるのに使用する工具です。その他の用途には使用しないで下さい。

３，部品分解図

品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称
１	グリースフィッティング	１３	ベアリング	２２	レギュレーター	３４	ブッシュ
２	ハンマーケース	１４	フロントエンドプレート	２３	リアガスケット	３５	バルブステム
３	インサートリコイル	１５	ローター	２４	ワッシャ	３６	スプリング
４	アンビルブッシング	１６	ローターブレード	２５	チャンネルガスケット	３７	デフレクター
５	フロントガスケット	１７ａ	シリンダー	２６	モーターハウジング	３８	Ｏリング
６	アンビルカラー	１７ｂ	ガスケット	２７	レギュレーターノブ	３９	Ｏリング
７	Ｏリング	１７ｃ	バルブスリーブ	２８Ｂ	ネジ	４０	Ｏリング
８	アンビル	１７ｄ	ベアリング	２９	ネジ	４１	エアインレット
９	ハンマーピン	１８	スクエアリング	３０	始動レバー	４２	フィルター
１０	ハンマー	１９	Ｏリング	３１	Ｏリング		
１１	ハンマーケージ	２０	スプリング	３２	スプリングピン		
１２	リアワッシャ	２１	スチールボール	３３	スプリングピン		

株式会社パーマン コーポレーション
〒５５０－００２１　大阪市西区川口４－１－５
フリーダイヤル　０１２０－２０２－８００